

3R

情報
発信活動
支援学習
体験

海洋プラスチックごみを減らすため、いま私たちができることを考えよう ～シリーズ②～

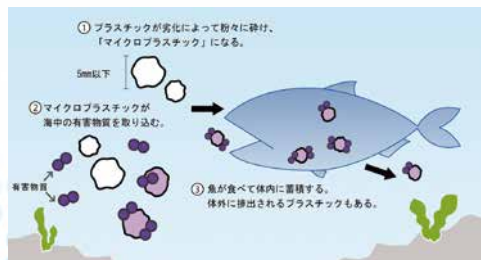
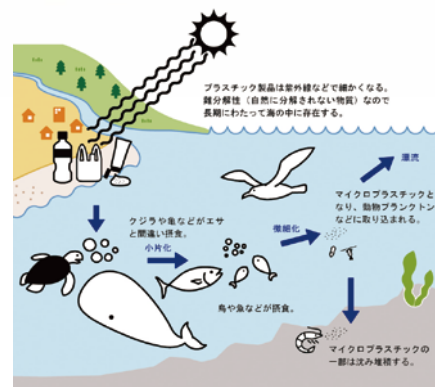
海に出たプラスチックごみはどうなるの？

私たちの暮らしの中にあふれるプラスチック製品。街で捨てられたレジ袋やペットボトルなどのプラスチックごみは風に乗って川を下り、海へと流れ出します。その量は世界で年間約800万トン。それらはやがて小さなマイクロプラスチックとなって海中を漂ったり、海底に沈んで堆積し、海の生態系に大きな影響を与えているのです。

プラスチックごみがもたらす生き物への影響や被害

石油を原料としたプラスチックは半永久的に分解されないため、長期にわたって海中に堆積し続けます。その結果、魚や海鳥、クジラやアザラシなど海で暮らす生物が、海洋プラスチックごみの影響で傷ついたり、命を落とすといったショッキングなニュースが世界中で報告されています。

海洋プラスチックごみのなかでも特に厄介なのが「マイクロプラスチック」です。紫外線や熱、波の力で細かく砕けた5mm以下の「マイクロプラスチック」は、海中に流れ出してしまうと回収はほぼ不可能。小さな貝やエビなどが餌と間違えて食べ、その小さな生き物を大きな生き物が食べるという食物連鎖の結果、体の大きな生き物ほどたくさんのプラスチックを体内に取り込んでしまうことになります。もちろん人間も例外ではなく、今年になってWWF（世界自然保護基金）は、「1週間に1人平均5gのプラスチックを体にとり入れていると見られる」という報告を出しています。



有害物質を取り込みやすいマイクロプラスチック

プラスチックには海中の有害な汚染物質を取り込みやすい性質があることから、マイクロプラスチックを食べた魚の体内にそれらの有害物質が蓄積される危険性が指摘されています。また、遠くの外海で有害物質を取り込んだマイクロプラスチックが、有害物質の運び屋となって港や海岸に流れ着く恐れも懸念されています。もともとプラスチックに使われている添加剤と、海中で新たに吸着する有害な化学物質。それらを体内に蓄積することが人間を含む生き物にどのような影響があるのか、現時点ではまだ明らかにされていませんが、決して楽観視することはできません。

※環境省「平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務」より抜粋



エコな
暮らしの
アイデアノート

使えなくなった傘の布を使って エコバッグを手作りしてみよう!

壊れた傘の布を利用して、オリジナルのエコバッグ作りに挑戦してみませんか！
傘布は丈夫で水気にも強いので、エコバッグに最適。空き時間で簡単に作れます。
ミシンがなければ、手縫いでもOK。お子さんと一緒に作るのも楽しいですね！

用意するもの

不用になった傘1本
はさみ、定規、
裁縫道具

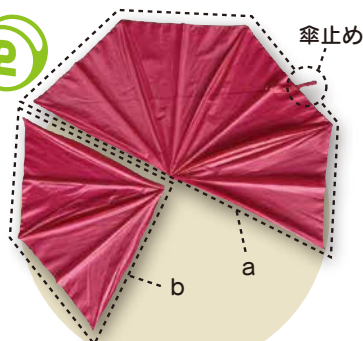
①



【傘布を骨部分から外す】

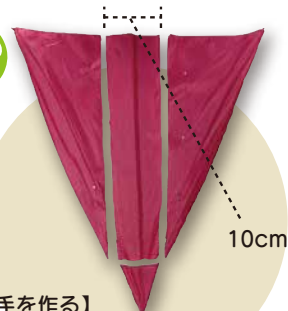
傘布と骨部分を結んでいる糸をリッパーや糸切りはさみ等を使って、丁寧に骨部分から切り離す。最上部(石突)部分は付け根ぎりぎりのところをはさみでカットする。

②



①の布をほどいて、傘止めが付いた部分を含む三角形4枚分(エコバッグ本体用=a)と2枚分(持ち手用=b)に分ける。

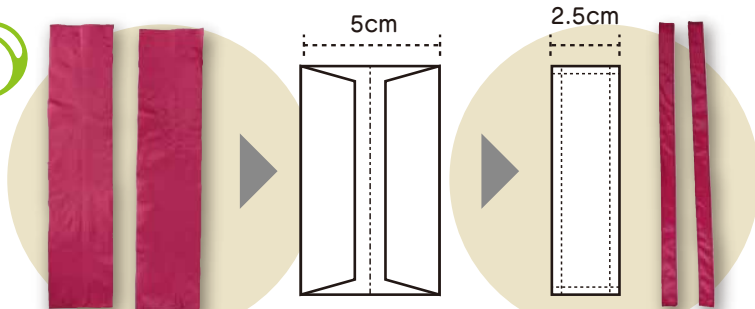
③



【持ち手を作る】

bを二つ折りにして三角形を2枚重ね、幅10cmの長方形を2本とる。三角形の折り目を中心に左右5cmのところを切ると、一番長くとることができる。

④



③の左右を中心に向かって2.5cm折り、さらに半分に折って周囲にステッチをかけ、持ち手を2本作る。

⑤



ここを縫い合わせる
(縫いはじめと縫い終わりは返し縫いをする)。

【本体を作る】

aを中表に二つ折りにして縫い合わせる。

⑥



傘止めが真ん中にくるようにたたみなおし、左右の脇を口部分と直角になるようそれぞれ20cm縫う。

⑦



バッグの底部分を2cm幅程度の三つ折りにして上下にステッチをかける。

三つ折りの上下に2本ステッチをかける



⑧



【持ち手を付ける】

袋口の中心12cmの位置に、裏側から持ち手を付ける。表に返して出来上がり。

⑨



傘止めを利用してコンパクトに収納



お気に入りの柄の傘布で作ればオリジナルエコバッグの完成

※手縫いの場合は持ち手の周囲のステッチ以外、半返し縫いで縫うと丈夫に仕上がります。

西部3Rステーション親子講座

「海辺の自然探検隊」を実施しました！

～親子で楽しみながら、海のごみのこと、学んだよ！～

さわやかな秋晴れに恵まれた9月14日(土)、福岡市西区今津にある西部埋め立て場とすぐそばの海岸を会場に、西部3Rステーションの親子講座「海辺の自然探検隊」を実施しました。

講師は一般社団法人「ふくおかFUN」のみなさん。プロのダイバーとして福岡の海で暮らす生物を調査。その営みを見守りつつ、豊かな海を次世代に残すため、学校での授業や講演会、体験型イベントなどさまざまな活動を行っています。

今回参加してくれた親子は6組24名。いま世界中で問題となっている海のプラスチックごみについて、身近な福岡の海をテーマに、写真や映像を使った座学や海辺の探検、拾った漂着物の「お宝自慢」や工作などを交え、楽しみながら学んでいました。



ダイバーならではの視点で、福岡の海に住む生き物や海洋プラスチックごみの影響について、写真や動画、クイズを交えながらわかりやすく紹介してくれました！

子どもたちも興味津々！



近くの海で漂着物を探すビーチコーミング。テーマは「タカラモノ」と「ナゾ」！バケツやゴミ袋に手にゴミを拾いながら40分ほどビーチを探索し、それぞれの「タカラモノ」と「ナゾ」を見つけました！



一見するときれいなビーチにも、貝殻や流木に交じって、細かく砕けた発泡スチロールやプラスチックごみがたくさん捨てられていました。

【保護者】

- ・スライドを使った座学、海岸で漂着物を探すビーチコーミング、拾ったものを材料にした工作という講座の流れがとてもわかりやすく、海のごみ問題について子どもたちといっしょに楽しく学ぶことができました。
- ・初めての参加でしたが、講師の皆さんの気さくな雰囲気もあり、海のプラスチックごみ問題について子どもたちも楽しみながら理解できる、よいイベントだったと思います。またぜひ参加したいです！

【子どもたち】

- ・海岸に行ったら、きれいな貝殻もあったけど、ごみもたくさんあってびっくりしました。そのごみが川から流れてきていることを知り、ごみを出さないようにしようと思いました。
- ・きれいなガラスや貝殻を使った工作が楽しかったです。

参加者からのコメント



拾った「タカラモノ」や「ナゾ」を広げて、みんなで意見交換！



拾った貝殻やシーグラスをフレームに貼り付けてオリジナルの写真立てが完成！



ふくおかFUNの皆さん



西部3Rステーション 講座・イベント情報



西部3Rステーションでは、3R実践講座や各種体験講座を開催しています。福岡市内に在住の方、通勤、通学されている方なら、どなたでもご参加いただけます。身近な3Rを体験してみませんか？

10月のイベント

「リユース陶器市」開催！

皆さんのご家庭の食器棚や物置に使わないまま眠っている陶磁器をリユース(再使用)しませんか？



日時／令和元年10月20日(日)
10:30～15:00(持ち込みは14:00まで)

場所／福岡市西部3Rステーション 1Fピロティ

持ち込み(無料)

- 持ち込めるもの…洗浄済みの陶磁器(食器等)で、汚れや破損がないものに限りです。
- 持ち込めないもの…銅類(土鍋を含む)、ガラス・木・プラスチック製品。
- 対象者…市内在住、または市内に通勤・通学する方(販売業者は除く)。

※キズやひび割れ、汚れがないかをご確認のうえ、箱や包み紙は外してお持ち込みください。

持ち帰り(無料)

- 対象者…どなたでも持ち帰りができます。
- ※持ち帰りには必ずエコバッグをご持参ください。

大好評！

11月の「3R実践講座」

着物や羽織でVネックチュニック作り【全3回】

日時／令和元年11月1日(金)、8日(金)、15日(金)
13:00～16:00

定員／15名(抽選) 参加費／500円

場所／2階研修室 応募締切／10月22日(火) 必着
持ってくるもの／着物または羽織1枚：ほどこいて洗い、アイロンをかけておく。110cm幅×150cmの布でもよい。型紙用紙、紙用・布用はさみ、定規、裁縫道具一式、筆記用具。



残り布でワイヤーポーチとコサージュ作り【全3回】

日時／令和元年11月7日(木)、14日(木)、21日(木)
13:00～16:00

定員／15名(抽選) 参加費／500円

場所／2階研修室 応募締切／10月24日(木) 必着
持ってくるもの／残り布50cm×50cmを4～5枚。型紙用紙、紙用・布用はさみ、定規、裁縫道具一式、筆記用具。



【応募方法】はがき、FAX、または西部3Rステーションの2階受付で①希望講座②住所③氏名④年齢⑤電話番号を必ず明記し、ご応募ください。抽選の上、当選者のみはがきで詳細をご案内いたします。

10月の体験講座！

すべて無料です!!

牛乳パックで紙すき体験

毎日 10:30～15:00

所要時間30分程度

【申込】随時



牛乳パックで風車

毎日 10:30～15:00

所要時間30分程度

【申込】随時



ロール芯で動物わなげ

毎日 10:30～15:00

所要時間30分程度

【申込】随時



お花のメモスタンド

毎日 10:30～15:00

所要時間30分程度

【申込】随時



ロール芯でペン立て

毎日 10:30～15:00

所要時間30分程度

【申込】随時



はぎれ(布・革)で作るストラップ

毎日 10:30～15:00

所要時間30分程度

【申込】随時



ハープ入り「リサイクル」せっけん作り

水曜日 10:30～11:30

【定員】10名/日(先着順)

【申込】希望日の3日前まで



★体験講座の申込方法★

電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①体験内容②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記のうえ、FAXにて下記あてにお申込みください。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でもご相談ください。

場所／2階啓発コーナー 参加費／無料 事前申込／不要

●ふくおか環境倶楽部主催 ●NPO法人循環生活研究所主催

日時／毎月第2・第4土曜日

日時／毎月第2金曜日

13:00～16:00

10:30～14:00



ダンボールコンポスト講習会

ダンボールコンポストを始めてみたいという方、ご参加ください。ご家庭で使いみちの無い堆肥は引き取り、新しいコンポスト素材と無料で交換いたします。まずはご相談ください。

●ふくおか環境倶楽部主催

日時／毎月第4土曜日 10:30～12:00

場所／2階啓発コーナー 参加費／無料

事前申込／不要 ※基材・テキスト購入可



フリーマーケット出店者募集！ 出店無料！

11月のフリーマーケット ※小雨決行

日時／令和元年11月4日(月・休) 10:00～13:00

応募締切／令和元年10月22日(火) 必着

「エコフェスタ2019」フリーマーケット ※小雨決行

日時／令和元年11月23日(土・祝) 10:00～14:00

応募締切／令和元年11月6日(水) 必着

場所／1階ピロティ 区画／16区画(抽選)
応募資格／市内在住、または市内に通勤・通学する20歳以上の方(販売業者でない方)

【応募方法】はがき、FAXまたは西部3Rステーション2階受付にて「11月のフリーマーケット希望」又は「エコフェスタフリーマーケット希望」とご記入のうえ、住所、氏名、年齢、電話番号を必ず明記し、ご応募ください。

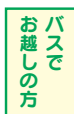
福岡市西部3Rステーション

開館時間 10:00-17:00
(衣類の持ち込みは16:00まで)

休館日 月曜日
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

TEL 092-882-3190 FAX 092-882-4580

〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

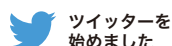


姪浜・天神・博多方面より
西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分
西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分
[西鉄バス情報] <http://www.nishitetsu.jp/bus/>



<http://www.fukuoka-seibuplaza.com>

福岡市西部3Rステーション 検索



ツイッターを
始めました

編集・発行／公益財団法人 ふくおか環境財団



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用し、植物油インキで印刷しています。